

総特集

鼠径部切開法を見直す*

鼠径部切開法のエビデンスとガイドライン	諏訪 勝仁	853
腹腔鏡および鼠径部アプローチの 言語化・技能評価を基本とした鼠径部ヘルニア手術教育	倉島 庸	861
Marcy 法	和田 則仁 ほか	869
Shouldice 法	成田 匡大	877
Lichtenstein 法	中野 敢友 ほか	885
Mesh Plug 法	蜂須賀丈博 ほか	895
Bilayer 法 (PHS, UHS)	嶋田 元 ほか	901
Kugel 法 —腹腔鏡を用いない後方アプローチ	村井 信二 ほか	909

WEB アンケートにご協力ください

読者アンケート(所要時間約3分)にご協力いただいた方の中から抽選で毎月10名の方に図書カード1,000円分を贈呈いたします(当選者の発表は贈呈品の発送をもって代えさせていただきます)。
アンケート回答はこちらから ➡ <https://forms.gle/RZMT6aqQoFoAKdJu8>



*企画

和田 則仁 (湘南慶育病院外科・消化器外科)

北川 雄光 (慶應義塾大学一般・消化器外科)

Direct Kugel 法	宮崎 恭介 ほか	917
TIPP-SCT 法 (Polysoft 法, ONFLEX 法)	堀 孝吏	925
ONSTEP 法	柳 健	939
大腿ヘルニア修復術	稲葉 毅 ほか	947
再発鼠径ヘルニアに対するハイブリッド手術	松田 年 ほか	955
前立腺全摘除術との相互影響から見直す鼠径部ヘルニア修復術 — Lichtenstein 法習得の意義	中川 基人 ほか	965
嵌頓・絞扼性ヘルニアに対する手術	山本 海介 ほか	975
小児鼠径ヘルニア修復術 (Potts 法, Ferguson 法)	長江 逸郎 ほか	983

正誤表	974
投稿規定	990
バックナンバーのご案内	991
次号予告	992